

平成23年11月
袋井市議会定例会
一般質問通告内容

袋井市議会

＝本会議インターネット放映のお知らせ＝

本会議の様子が、自宅のパソコンで見ることができます。
袋井市のホームページに接続し、袋井市議会のコンテンツの中に「袋井市議会のインターネット中継」があります。ホームページアドレスは、次のとおりです。

袋井市 <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>

袋井市議会（インターネット中継）

<http://dvlsv.city.fukuroi.shizuoka.jp/view/2.html>

●傍聴者の皆様へ：携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

一般質問通告議員

12月 6日 (火)

【午前質問予定の議員】

	ページ
1番 沼上賢次議員 ……	1
2番 竹原和義議員 ……	2
3番 浅田二郎議員 ……	4

【午後質問予定の議員】

4番 田中克周議員 ……	5
5番 山田貴子議員 ……	7
6番 佐藤省二議員 ……	9

12月 7日 (水)

【午前質問予定の議員】

7番 寺井紗知子議員 ……	10
8番 寺田守議員 ……	11
9番 寺井雄二議員 ……	12

【午後質問予定の議員】

10番 高橋美博議員 ……	13
11番 大場正昭議員 ……	14
12番 芝田禮二議員 ……	16

12月 8日 (木)

【午前質問予定の議員】

13番 高木清隆議員 ……	17
---------------	----

質問順序	1	議席番号	4	質問者	沼上賢次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 投票行動と開票作業の迅速化について</p> <p>期日前投票時の「宣誓書」を事前配布することで、投票者への記入負担も減り、手続きも簡素化できるのでは。</p> <p>(1) 利用しやすい制度への改善はできないか伺う。開票作業の迅速化は、徹底的に無駄を省くことは必要だが、機器の増設が大きな要因となる。</p> <p>(2) 自動読み取り機の増設の考えを伺う。</p>					
<p>2 定住自立圏構想について</p> <p>地域主権の確立のため、市町村の役割が増す。中央集権型社会から地域の自給力を高める地域主権型に転換していく必要がある。</p> <p>(1) この定住自立圏構想について、市長の御見解を伺う。</p> <p>(2) 今後の展開の見込みについて伺う。</p>					
<p>3 人工内耳装用者への助成について</p> <p>「音を、声を、取り戻した時の喜びは、今も忘れられない！」聴覚障害者が安心した生活の確立を。</p> <p>(1) 人工内耳用電池に対する助成と人工内耳の買い替えに関する助成の実施に向けた取り組みを伺う。</p>					

質問順序	2	議席番号	2	質問者	竹原和義
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 防災未来賞「ぼうさい甲子園」について</p> <p>阪神・淡路大震災の経験や、その後の様々な自然災害から得た教訓を生かし、自然の脅威と生命の尊さや、共生の大切さを考える「防災教育」を推進し、未来に向け安全で安心な社会をつくるため、児童・生徒等が学校や地域において主体的に取り組む「防災教育」にかかる先進的な活動を顕彰する『防災未来賞「ぼうさい甲子園」』が実施され、全国から公募しています。</p> <p>(1) 袋井市内の小学校・中学校が任意で、この「ぼうさい甲子園」への参加について伺う。</p>					
<p>2 津波火災について</p> <p>今回の東日本巨大地震では、津波に襲われた街の各所で津波火災が発生した。大型石油タンクは仮に津波が到達しなくても、地震の揺れで火災を起こすことがある。今回のような巨大地震では、ゆっくりとした長周期の揺れが強い。大型タンクを満たした石油は、水を入れたバケツを揺すったように中で激しく動く。そのとき液面に浮かべたふたがタンクの壁面をこすり、その摩擦熱のスロッシング現象で石油に火が着く。</p> <p>(1) 本市での「海上油面火災」「津波火災」の可能性について伺う。</p> <p>(2) スロッシング現象によって油があふれる可能性のあるタンクは、現在どのくらいあるのか伺う。</p> <p>(3) 中央防災会議は、12月に防災基本計画を大幅修正し、津波対策を拡充する予定。本市での大規模な複合災害（地震災害、津波災害、原子力発電所事故）対策について伺う。</p> <p>(4) 危険物を備蓄貯蔵している箇所がある袋井市の津波火災対策について伺う。</p>					
<p>3 原発震災について</p> <p>東日本大震災、とりわけ「原発震災」は本当に防げない事故だったのか。仮に想定外の大地震と大津波によって原子炉の一部が破壊されたとしても、その後の被害がここまで拡大することを防ぐことはできなかったのだろうか。3. 1 1を東海地震に重ねたとき、UPZ（緊急時防護措置準備区域）について伺う。</p> <p>(1) 袋井市役所も「緊急時防護措置準備区域」にあり、災害時にどこに市役所機能を求めるのか。また、定めてあるのか伺う。</p> <p>(2) 8万7,000人余の袋井市民はどこに避難させるのか伺う。</p> <p>(3) 長崎県松浦市では原子力防災避難行動計画が定められているが、本市での対応について伺う。</p> <p>(4) 浜岡原発でのプルサーマル計画について、本市の基本的な考え方について伺う。</p> <p>(5) 浜岡原発ではトータル9,025体の燃料体が存在する。浜岡原発のリスクの残余について伺う。</p>					

質問順序	2	議席番号	2	質問者	竹原和義
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>4 学校給食のトレーサビリティについて</p> <p>文科省は給食不安に対応し、自治体に検査機器購入費用の半額を補助する方針を決めたと朝日新聞は9月21日伝えた。横浜市教育委員会は6月から毎日1食材を選び測定し、ウェブサイトで公表してきたが（すべて不検出）、読売新聞によれば10月からは、毎日1校ずつ、使用される食材すべてを対象にした放射性物質の測定を行うという。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 福島県産の安価な牛肉は使用されていたのか。放射能汚染のない地域の牛肉食材が使用されているのか伺う。 (2) 国産の魚類からも放射能汚染が報告されている。魚類では、十分な検査結果が判明したものを使用されているのか伺う。 (3) 学校給食のパンの小麦粉は静岡県産か伺う。 (4) 牛乳は摂取頻度も摂取量も多いため、本市では、定期的な放射線量を測定されているのか伺う。 (5) 子供の被曝量を正確に把握するため、給食一食分の放射線量は測定されているのか伺う。 (6) 食材を抽出してサンプリング調査はされているのか伺う。 (7) 学校給食では、安心・安全の見地から静岡県産の食材を使用しての地産地消について伺う。 (8) 食材のサンプリング検査に加え、調理済みの「給食まるごとミキサー検査」で放射性セシウムの量を精度よく測り、結果をホームページで公表することについて伺う。 					

質問順序	3	議席番号	17	質問者	浅田二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 教員の長時間勤務の解消について</p> <p>教員の長時間労働は、本人の健康や家庭に影響するだけでなく、子供たちの発達、人格形成、将来にも影響をもたらす。その認識と解消策について尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) どのように勤務時間を把握しているか。 (2) 長時間勤務の状況をどのように認識しているか。 (3) 教員の健康上から異常な状態では。 (4) 国際的比較からも極端な違い。 (5) 不祥事多発との関連は。 (6) 大阪府での教育基本条例案への見解は。 (7) 衛生委員会等の設置 (8) 給食指導、登校指導、部活指導などからの解放 (9) 研究会や各種行政訪問などの厳選と事務の簡素化 (10) 保護者との連絡・相談体制 (11) 授業準備時間の確保 (12) 教員集団としての対応と地域との連携 					
<p>2 上水道需給計画の見直しについて</p> <p>平成22年度の給水量は前年より減少し、計画を大きく下回っている。今後の対応を尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 給水量の減少の要因をどうみているか。 (2) 特殊な要因がなければ、計画を見直す必要があるのではないか。 (3) 今後の給水量の予測をどの程度と考えているか。 (4) 一定量を自己水源で賄うという供給の基本の確認 (5) 県水の契約水量の変更について 					
<p>3 遠距離通学について</p> <p>徒歩通学を免除される遠距離通学者がふえている。市としての対応を尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 公立小中学校で、徒歩通学を免除する基本的考え方は。 (2) バス通学、自転車通学の実態は。 (3) 遠距離通学への助成をすべきではないか。 					

質問順序	4	議席番号	8	質問者	田中克周
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 地震対策の取り組みについて</p> <p>昭和56年以降に建築した建物（新耐震基準）について、本当に倒壊の危険性はないのか。もっと耐震診断を促進すべきではないかと考える。</p> <p>(1) 新耐震基準での建物においても、平成12年の建築基準法改正が行われるまでの間に建てた建物の83%は、耐震性に問題ありとの全国データがある。これについての見解をお伺いする。</p> <p>(2) 我が家の専門家耐震診断の対象を市独自の制度として拡大すべきと考えますが、当局のお考えをお伺いします。</p>					
<p>2 生活環境の整備について</p> <p>(1) 下水道工事後の道路の振動に悩まされ、精神的なストレスも大きい。その対策を伺う。</p> <p>ア 市道袋井上貫名線の方丈6丁目沿線住宅では、地震並みに振動する。どのような理解をされているのか。</p> <p>イ 下水工事直後の埋め戻し等につき、施工業者に対する指導・監督は、どのようにされているのか。</p> <p>ウ 10月に市道袋井上貫名線の一部につき、舗装のし直しがされたが、その補修の方法及び完了後の状態はどうであったか。</p> <p>エ 都市ガスの配管工事も想定される中、今後の舗装し直し工事の計画はどのようなになっているのか。</p> <p>(2) 新町・本町地内（袋井地区）を通る排水路が、居宅床下や庭下などを流れているため、抜本的な対策が求められている。</p> <p>ア 袋井地区の排水路（通称「大ドブ」）について、どのようにお考えですか。</p> <p>イ 長年の地元の改修要望に対して、今まで着手できなかった理由は何か。</p> <p>ウ 新町地内、本町地内と区分して排水する案はどうか。</p> <p>エ 今後の整備方針を伺う。</p>					
<p>3 スポーツの振興について</p> <p>(1) 国のスポーツ基本法や袋井市のスポーツ振興計画の策定により、これからの袋井市のスポーツのあり方が示されました。具体的な取り組みや考え方を伺います。</p> <p>ア 袋井市スポーツ振興計画に掲げる「見るスポーツ」、「支えるスポーツ」の具体的な取り組み方法は。</p> <p>イ トップアスリートとの触れ合いに、行政として期待する効果と、その具体的な取り組みは。</p> <p>ウ 「総合型地域スポーツクラブ」の育成の現状と今後の具体的な目標は。</p> <p>エ W杯、国体の10周年を記念した市民イベントの開催を計画する考えは。</p>					

質問順序	4	議席番号	8	質問者	田中克周
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>(2) 県市町駅伝大会、クラウンメロンマラソン大会は、袋井市におけるスポーツのビッグイベントであり、まちおこしイベントです。市の取り組みを伺う。</p> <p>ア 両大会に対する市の考え方及び取り組みは。</p> <p>イ 単なるスポーツ大会ではなく、まちおこしイベントとして、市の積極的な関わりを期待するかどうか（例 広報紙、指導者、応援、学校等）。</p> <p>ウ 第12回県市町駅伝大会の袋井市チームの総括。また課題は何か。</p>					

質問順序	5	議席番号	5	質問者	山田貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 放射線量測定</p> <p>福島原発以来、食品に対する放射線量が問題になっています。食の安全・安心のため、特に学校給食用食材の測定をされれば確認できます。</p> <p>(1) 浜松市では、教育委員会と市保健環境研究所が、学校給食用食材の放射線量測定を始めているが、当市の考えを伺う。</p> <p>(2) 学校給食の地産地消が望ましいが、現在、東北・関東よりの産地と地場の産地との割合はどのくらいか。</p>					
<p>2 生活保護者への対応について</p> <p>生活保護の受給者数は、1950年に現行の生活保護制度が始まって以来、過去最多を更新したが、本市としては、住みよい豊かなまちづくりを目指している。</p> <p>(1) 働ける年代なのに失業などで受給している人の増加割合と、市として雇用対策はされているのか。</p> <p>(2) 雇用が不安定な非正規労働者に対して「生活できる収入ではない」人に「利用できるよう」指導しているのか。</p>					
<p>3 （仮称）大日ほたるの里の利活用方法</p> <p>（仮称）大日ほたるの里公園の入り口には200万年前の化石と断層があります。木々の緑豊かな公園が来年には開園です。</p> <p>(1) 特徴ある公園ですので、ぜひパンフレットを作成して、広く市民に浸透するようにしてください。四季の木々や草花の標本を入れたり、化石の説明や地層の説明、そして、ハイキングコースの御案内を入れたパンフレットです。</p> <p>(2) 管理についてですが、公園の芝生の管理や公園内の木々の剪定について、どのぐらいの割合で、どのようにするのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 公園内の人工せせらぎは、虫が出るような環境を考えているのか。</p> <p>(4) 学童に地層や化石についての学習指導の一環として進めるべきです。</p>					
<p>4 宇刈川の川床整備</p> <p>宇刈川は、農業用水、水防、環境保全の面から、水源には虫が生息しています。自然豊かな川をめざします。</p> <p>(1) 川床の草刈りの実施を、市を通して県に要望していますが、市としての考えをお聞かせ下さい。</p> <p>(2) 放置することにより、水の流れがせき止められ、さらに土砂が堆積されるおそれがあるので、早期に対策をすべきです。</p>					

質問順序	5	議席番号	5	質問者	山田貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>5 自転車通学路</p> <p>県道袋井春野線の横手橋から周南中学校付近の信号機まで、徒歩または自転車通学は、宇刈川左岸堤防を利用すれば、安心安全が増します。</p> <p>(1) 宇刈川左岸堤防は、すでに舗装されて、二輪車と歩行者のみの通路に整備されていて、横手橋からもすぐ進入できます。下山梨方面に行く徒歩または自転車は、安全のため、こちらの堤防を通るように、道案内看板を立ててはいかがでしょうか。</p> <p>(2) この堤防は、夜間においてもジョギング等利用されていますが、防犯灯が設置されていません。より安全安心のためにも設置すべきです。</p>					

質問順序	6	議席番号	19	質問者	佐藤省二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1 市長の政治姿勢について					
(1) パートナーシップによるまちづくりにかける意気込みについて					
2 北部地域の開発					
(1) 森町と道路整備の共有化					
(2) 宇刈一色・三沢地域の開発					
(3) 上山梨第三土地区画整理事業の進捗と現状について					
(4) 袋井駅森線・山梨中央通り線整備事業の早期着工を。					
3 鳥獣被害と対策					
(1) 袋井市のイノシシ被害の実態について					
ア 平成22年度の捕獲頭数と被害額					
イ 平成23年度の捕獲頭数と被害額状況					
ウ 平成23年度対策と取り組み					
(ア) 電気柵の設置状況					
(イ) 箱わなの設置状況について					
(ウ) 猟友会との協力体制					
(エ) わな猟の免許取得推進					
(オ) 鳥獣被害防止計画の策定を急ぐべき					
(2) 広域行政の取り組み					
ア 近隣市町との情報と対策の共有化					
イ 加工処理施設の共同設置についての動き					
4 認知症対策					
(1) 患者数の実態調査をされておりますか。					
(2) 患者数をどのように把握されておりますか（軽度・中度別）。					
(3) リハビリ指導の取り組み内容と効果について					
(4) 予防教室の募集方法についてお聞きします。					
(5) 家に引きこもりがちの人の声掛けはどうされていますか。					

質問順序	7	議席番号	22	質問者	寺井紗知子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1 「子ども・子育て新システム」について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新システム制度案をどのように受け止めているか、見解を。 (2) 新システムは様々な問題点が指摘されている。導入にあたり、本市の問題・課題になることがあるとすれば、どのようなことが考えられるか。 (3) 社会的な養護・障害児に対する支援も含め、すべての子供を対象に一元的な制度になることから、「子供」担当の部署の組織再編は必要と考えるがいかがか。 					
2 障害児支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 障害者自立支援法及び児童福祉法の改正により、児童福祉法に根拠規定が一本化されるものについて、影響はどうか。 (2) 「児童デイサービス」の呼称について、変更はあるか。 (3) 学区再編に伴う「そよかぜ」の移転先の見通しは。 					
3 自転車原則車道通行について <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市の問題点はどこにあると考えるか。 (2) 安全確保について、早急に対応できることはあるか。 (3) 安全確保のため、今後の道路行政のあり方について (4) 交通安全教育の推進を図ることについて 					

質問順序	8	議席番号	6	質問者	寺田守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 公共施設への太陽光発電の導入促進、電力購入について</p> <p>福島原発の事故、浜岡原発の停止以降、節電対策、再生可能エネルギーの開発が大きな課題になっている。また、電力自由化により、電力購入先の選択ができる状況になっており、その対応について市の方針を伺う。</p> <p>(1) 今夏、市本庁舎では、15%の節電計画に対し、17.6%の節電実績をあげたが、今冬季の節電対策をどのように計画しているか。</p> <p>(2) 本市の学校施設への太陽光発電の導入は、一昨年のスクールニューディール政策以降進んでいない。計画的導入の考えはあるか。</p> <p>(3) 公民館やコミュニティ施設への太陽光発電の導入は、環境教育、防災、経費削減の観点からも導入が必要と考えるがどうか。</p> <p>(4) 電力自由化の制度改革によって、PPS（特定規模電気事業者）契約により、施設の電気料金の引き下げを行っている自治体がある。市として採用する計画はあるか。</p>					
<p>2 久野城址公園の整備、利活用について</p> <p>一昨年、久野城址公園が整備され、訪れる人がふえたが、公園の維持管理、また、今後のまちづくり計画を進める上で、整備方針について、市の考えを伺う。</p> <p>(1) 公園が完成して約2年がたったが、芝草や雑草、樹木の管理について、現状をどのように把握しているか。</p> <p>(2) 本丸部分の眺望や景観を良くするため、南東部の斜面の樹木の伐採が必要と考えるが、市の見解はどうか。</p> <p>(3) 城址本丸には、東名高速道路からも良く見える城址の看板が立てられている。夜間のライトアップを検討したら良いと思うがどうか。</p> <p>(4) 城址の存在をアピールするため、シンボリックな建造物が必要と考える。高見付近で建設するのが最適と考えるが、調査する用意はないか。</p> <p>(5) 山城を有する自治体による「全国山城サミット連絡協議会」があり、これをまちづくりに生かす取り組みが行われている。市としても情報の収集や連携のため、協議会への参加を検討してはどうか。</p>					
<p>3 アジア諸国との地域外交について</p> <p>アジア諸国との文化・経済・交流が、地域レベルでも幅広く広がっている。本市とアジア諸国との交流について、市長の所見を伺いたい。</p> <p>(1) 商工会議所では、今年度「アジア産業交流部会」を発足させ、国際交流協会もアジア諸国との交流を重視している。市としてどのような支援を考えているか。</p> <p>(2) 昨年、ベトナムの大使が2度目となる本市訪問をされ、先月には、大阪総領事が本市を訪れた。昨年には、フエ市に「日越友好の碑」が建てられた。市長はベトナム訪問について、「機運の醸成を図って行きたい」と答えられているが、現在の考えをお聞きしたい。</p>					

質問順序	9	議席番号	7	質問者	寺井雄二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 震災瓦れき処理について(共同声明)</p> <p>東日本大震災での瓦れきの処理は、いずれは我が身として受けとめることも必要ではないか（受け入れ可能の瓦れき処理）。要請を受けることについて伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 県の受け入れ要請について袋井市としての考えについて (2) 一時保管場所についてどこを想定するのか。 (3) 塩分を含んだ瓦れきを野ざらしとした場合、塩分を含んだ雨水の処理はどのようにされるのか。 (4) 一時的にふえるごみについて処理は可能か。 (5) 破碎を必要とする瓦れきをこの施設で対応できるのか。 (6) この瓦れきについて現在市では分別をされているが、この瓦れきについては分別はされるのか。 (7) 塩分を含んだ瓦れきに対し、炉は十分対応することができるのか。 (8) 飛灰について中遠広域一般廃棄物最終処分場とするのか。 (9) 住民に対してどのように理解を求めていくのか。 (10) 県に対し袋井市はどのように求めるのか。助燃燃料等の助成は。また、処理助成について 					
<p>2 農業施設における地震対策（津波）</p> <p>農業推進を図るために、農業施設の事前の地震対策を立てることにより、地震に対しての安全性が保たれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 震災時に応急措置がとれるよう、農業災害基本方針を立てることが必要と思うが。 (2) 農道施設の災害予防対策は立てられているのか。 (3) 浅羽揚水機場及び附帯する配管等について地震・津波に対し国に対策を要請すべきと思うが（国施設につき）。 (4) 耐震性に乏しい農業用配管に対して補助的支援は。 					
<p>3 バイオマスタウン構想の結果は</p> <p>バイオマスタウン構想推進は環境への負担に優しい農作物を作り出す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 廃食用油利活用の現在までの取り組み状況はどのようになっているのか（公用車等への活用状況は）。 (2) 遊休農地を活用した資源作物は推進されているのか。 (3) 家畜排せつ物の利用状況は。 (4) 麦わら等の利活用状況について (5) 木質バイオマス利活用の促進状況について (6) 各取り組みについて協議会が設けられているが、どのように推進が図られているのか。 					

質問順序	10	議席番号	18	質問者	高橋美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 浜岡原発への対応について 原田市長の浜岡原発への認識を再度伺う。 (1) EPZ圏域が拡大の方向にある。中電と5市2町の情勢連絡会ととどまらず、個別に安全協定を結ぶ考えはあるか。 (2) 国の防災指針提示を待つことなく、避難マニュアルの作成や避難訓練を実施する考えはないか。 (3) 市長は再稼働を認める条件に市民の合意をあげたが、その際は住民投票、住民意識調査等を実施する考えはないか。</p>					
<p>2 障害児の放課後児童クラブについて 平成22年度より「はるかぜ」がふえ、3カ所体制となり利用がふえている。今後の対応について伺う。 (1) 現在の利用数と今後の見通しはどうか。 (2) 高南小の空き教室を利用している「そよかぜ」は平成25年度実施の学区再編までの移転が求められ、旧山梨幼稚園施設を利用している「はるかぜ」も暫定利用である。今後の移転先について市の考えはどうか。 (3) 障害者自立支援法改正への対応はどうか。</p>					
<p>3 新病院への公共交通アクセスについて 両市の担当者による公共交通整備プロジェクト会議が設置され検討が進められているが、何ら情報の提供がない。検討された内容、今後の予定を示すべきではないか。 (1) 基本となる民間事業者とのバス路線の協議状況はどうか。 (2) 自主運行バスの接続など運行路線の見直しはどうか。</p>					
<p>4 農業6次産業化支援について T P P参加の農業再生策の一つとして6次産業化があげられている。市の取り組みについて伺う。 (1) 市長の「T P Pへ参加すべき」との認識に変わりはないか。 (2) これまでにどのような取り組みを実施し、どのような成果・実績をあげているか。 (3) 制度の問題点をどう認識し、推進の課題は何か。</p>					
<p>5 河川愛護活動について 市民協働、河川愛護の名目で自治会に要請、年2回の河川の堤防の草刈りを実施しているが、予算の軽減が主目的となっていないか。 (1) 報奨金の分配に不公平感があるが見直しはどうか。 (2) 事故等の問題をどう認識しているか。 (3) 高齢化等で負担が重くなっている。市の軽減策はどうか。</p>					

質問順序	1 1	議席番号	1 0	質問者	大場正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 新年度予算編成方針について</p> <p>先日も会派としての要望活動を行った。予算編成時期を迎え、緊急性、必要性、重要度を踏まえ、編成をお願いしたい。財政が厳しい中であっても、夢の広がる予算編成を希望する。そして安全・安心で安定した市政運営をお願いしたい。</p> <p>(1) 日本経済は、円高による影響等さまざまな要因から、雇用の復調も難しく、景気の「二番底」の状況も想定されている。市として、現在の我が国の経済状況をどうとらえているのか。税制改正、経済情勢の推移等に留意し、その動向を見極めた上で、予算編成過程で適切に対応願いたい。</p> <p>(2) 今後も国の支援が先細る中で、厳しい財政運営を覚悟しなければならないと考える。我が袋井市を取り巻く環境、財政状況はどうか。歳入・歳出予算の基本的な考え方は。積極的な歳入確保に、どのように努力しているか伺う。</p> <p>(3) 財政健全化への取り組みはどうか。今日までの取り組みで、一定の成果をみているが、今後も安定した財政運営を継続してもらいたい。財政運営を戦略としてとらえ、その都度、進捗状況の検証も行き、公表することが大事と思うがどうか。さらなる行財政改革、財政指標に対する取り組みについて伺う。</p> <p>(4) 新年度予算編成の基本理念は。予算編成の最大のテーマは何か。市政運営の基本姿勢はどうか。国は「成長と雇用」を強調しているが、市としてどの政策に重点を置いていくのか。費用対効果の分析の精度を高め、廃止・見直しを含めた重点化・選別も必要である。</p> <p>ア 新規事業はどのくらいになるのか。また、一般事業の枠は削減となるのか。防災・減災の予算枠はどうか。市総合計画3カ年推進計画との整合性は。</p> <p>イ 市として、重要な政策課題、重点施策は何か。また、a 子供、子育て支援、b 農業予算の充実、c 雇用対策、d 地域医療の再生、e 低炭素社会の実現などについてはどうか。</p> <p>(5) 予算・行政に対するPDCAサイクルの整理、強化についてはどうか。行政支出を減らし、限られた予算を市民の便益をもたらす施策に反映するためには、計画・実行・検証・反映のサイクルの充実を図り、常に検証していくことが重要である。今後の行政経営、都市経営のあり方、方向性はどうか。</p>					
<p>2 定住人口の増加施策について</p> <p>住環境のすばらしさなど、「ふくろい」のよさを市内外に広くPRすることにより、さらなる袋井のブランド力をアップし、ひいては定住人口の増加を図りたい。</p> <p>(1) 「住みよさランキング（東洋経済新報社）」全国第28位をどうとらえているか。何が高採点、高評価につながったのか。全国1位を目指すため、どのような弱点を克服し、どこを伸ばしていくのか、その取り組みはどうか。</p> <p>(2) 近年、自治体のイメージアップが叫ばれているが、我が市での取り組み状況はどうか。今後、市として、イメージアップ戦略を取り入れていく考えはあるか。</p>					

質問順序	11	議席番号	10	質問者	大場正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>(3) 市としてイメージアップを行う上での課題の整理、市の特徴、人材の育成、地域ブランドの発掘などが必要と思うがどうか。今後、どのようにしていくのか、その戦略は。</p> <p>(4) 市長のトップセールス、テレビやラジオ番組放送や記事掲載などのメディアを通して、「ふくろい」の魅力をアピールすることを提案するがどうか。</p> <p>(5) 姉妹都市や友好都市との交流、都市間にわたる連携活動も必要と思うがどうか。シティプロモートする推進本部の立ち上げ、具体的な事業の企画立案、事業推進に向けた連携・調整も重要と考える。具体的に担当の係を設置する可能性はどうか。</p>					
<p>3 農を活かしたまちづくりの展開について</p> <p>行政経営方針の大きな柱である「農を活かしたまちづくり」の進捗が気がりである。T P Pへの課題も山積しており、我が市の農業、農業者にとって、まさに正念場であると考え。</p> <p>(1) 特に「地域産業の活性化」と「人づくり」の分野で実践していくとのことであるが、この事業全体が伸び悩んでいるように思える。今年度の反省点はどうか。何がいけなかったのか。</p> <p>(2) 農産物加工販売応援事業は、我が市の農産物の高付加価値化を図る「6次産業化」の目玉であったと思うが、その評価はどうか。計画を予定している国本地区への取り組みは、その集約的、センター的なものと考えてるがどうか。滞在型の施設の設置もよいと思うがどうか。</p> <p>(3) 人づくりの柱となるのびのび園庭グリーン事業や農を活かした授業づくり事業のその成果と今後はどうか。自ら考え、行動することができる人材の育成につながっているのか。</p> <p>(4) 市民農園拡充事業は、農園の借り手が少なかったように思う。何が課題として残ったのか。果たして実際の耕作放棄地の解消につながったのか。今後の取り組みについてはどうか。</p> <p>(5) いきいき健茶グリーン事業、野菜いっぱい運動など、学校や地域、事業所と連携し、健康的な食習慣の普及・啓発に本当に役立っているのか、その成果はどうか。</p> <p>(6) 学校給食における地産地消の現在の状況はどうか。給食センターも増設し、全体的な食数もふえるが、さらなる地元産農産物を取り入れる考えは。今後における食育事業の充実を図る取り組みは。</p> <p>(7) これらの思い・考えから、もう一度、我が市の農業を活性化させるその決意は。本市は県内でも一番、全国でも有数の農業を営む地域資源、環境並びに人材が整っていると思うが、より効果的な事業の展開を図る考えはどうか。団塊の世代の活用も大切だと思うが。</p>					

質問順序	1 2	議席番号	1 3	質問者	芝田 礼二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 小笠山山麓開発について</p> <p>小笠山山ろくを工業用地とあわせて袋井市の防災拠点として多目的に開発できないか。</p> <p>(1) 業務移転した跡地がふえてきている。市長は「小笠山山麓開発調査事業」の調査をし、工業用地として追求するのか。別の有効利用を考えるのか伺う。</p> <p>(2) 小笠山山ろくを工業用地とあわせて袋井市の防災の拠点として多目的利用を提案させていただきますがいかがか。</p> <p>(3) 南部地域から山ろく高台へ東同笠油山線及び緊急輸送道路（県道西同笠浅羽線）を上り2車線化し、避難弾丸道路の建設もあわせて提案しますがいかがでしょうか。</p>					
<p>2 農業振興</p> <p>農業資材の高騰、凍霜害、春先の低温、風評被害、台風等の問題に直面している。やる気をなくさないようしっかりした対応が求められていると思います。</p> <p>(1) 農家の方が今、就農への気持ち、意欲、生きがい等モチベーションがなくなっている。この点について市長のご所見を伺う。</p> <p>(2) 「はじめよう農業人育成事業」の進捗状況はどうか。</p> <p>(3) 研修生と農家とのコーディネーターの役割を果たしていくつもりなのかお伺いします。</p>					
<p>3 商工業の振興</p> <p>経済の低迷、雇用の問題など本市商工業を取り巻く情勢は、以前にも増して厳しい状況である。</p> <p>(1) 東京、関東一円で展開されている企業訪問の様子、お客様の反応等伺う。</p> <p>(2) 3. 1 1以降トップとしての市内企業への訪問、動向調査などされたのか。またその様子はどうか。</p> <p>(3) 第4回「ものづくりフェスタ in 袋井」を経験して、過去の大会と比べどのように総括されたのか。</p>					

質問順序	1 3	議席番号	1 4	質問者	高木清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1 防犯対策について					
<p>身近な防犯対策に取り組むためには、袋井警察署とのさらなる連携が必要。</p> <p>(1) 警察署が開設し、半年がたった中で、市内の治安状況を、市としてどうとらえているかを伺う。</p> <p>(2) 罪種別認知件数と地域発生状況にあわせた行政としての取り組みの状況と成果（意識向上）について伺う。</p> <p>(3) 犯罪未然防止活動の一端として、「広報ふくろい」へ定期的に周知・啓蒙する記事を掲載すべきではないか。</p>					
2 消防団の出動区域について					
<p>中遠地域（袋井市・森町・磐田市）における消防本部の広域化への取り組み及び（仮称）山梨分遣所建設に伴い、消防団の出動要請区域の見直しが必要。</p> <p>(1) 中遠地域における消防本部広域化における検討課題に、消防団の位置づけが課題として取り上げられているか伺う。</p> <p>(2) 消防団員の就業形態が大きく変わってきている今日、消防本部の広域化への取り組みにあわせ、出動要請区域を検討する必要があると思うがどうか。</p> <p>(3) 袋井市消防団においては、過去の歴史的な背景をもとに、管轄区域外への応援出動がされているが、今回の消防本部の広域化への取り組みを踏まえ、隣接する消防団との災害時における応援協定を締結すべきと考えるがどうか。</p>					
3 幼児期運動指針について					
<p>子供の体力は、1985年をピークに低迷していることから、「投げる」「走る」など、基本動作や運動習慣を幼児期から身につけることが必要。</p> <p>(1) 市内における幼稚園児・保育所児における体力の状況について伺う。</p> <p>(2) 小中学生の体力不足の背景に、幼児期の運動不足が背景にあると認識しているかを伺う。</p> <p>(3) 幼稚園・保育所において、発達段階にあわせた計画的な運動に向け、どのような取り組みをされているかを伺う。</p> <p>(4) 袋井市として、「子どもを元気にする運動・スポーツの適正実施のための基本指針」をもとに、「幼児運動指針：袋井版」を策定する考えはあるかを伺う。</p>					